

## 受講生の声

■今まで実習指導者として学生や実習担当教員と関わってきましたが、実習指導者としての知識や技術がないまま行っていました。講習会では、教育の基本から学べ、対象を認知すること、現代の青年期の特徴や看護理論など、指導者として必要な知識を基本から学ぶことができています。また、学生を把握して、よりよい実習環境を整え、学んでもらえるように仕向ける、といった指導者として何をすればよいのか、学ぶことができています。

■実習指導者養成講習会で、どんなことを学ぶのかよくわからないまま参加をしました。実際に参加をして、教育・心理・倫理・発達など様々なことを学び、対象(学生)を理解することの大切さを実感しました。講義の中には、指導者としてだけではなく、自分を知ることや育児に役立つ内容もあり、とても良い学びの機会を頂けたと思っています。また、このような場でなければ関わることのできない他の病院の方々とお会いことができ、同じ悩みや仕事のことなど、話すことができ楽しいです。自分の成長のためと思って、頑張りたいと思っています。

■講習会では、人間とは、発達とは、教育心理学、授業の展開方法など、実習指導に必要なことを学び、毎回とても興味深く楽しく受講できています。この年で看護理論を学べたことは、自己の看護観を振り返り、深める機会となっており、自己の成長へとつながられています。同じ目標をもった仲間たちと過ごす時間は、他の人の考え方や物の見方、看護観に触れる貴重な機会となっており、視野を広げることができています。後半はより核心に迫った内容となるので、さらに気を引き締めて頑張りたいと思います。

■実習指導者養成講習会では、実習指導者に求められる知識や技術を修得するだけでなく、群馬県内の実習指導に携わる看護師との関りが大きな収穫になっています。実習指導をする上で、困難に感じていることは多々あり、それが私個人の悩みではなく、他の病院の実習指導者も同じ悩みを抱えていることがわかりました。お互いに情報交換や情報共有をしながらの演習は、貴重な経験になりました。また、看護学教員だけでなく、教育心理学を専門とする教員の講義では、新たな視点を学ぶことができ、看護学だけにとらわれていた自分自身の行動を振り返ることができました。後半には、臨床の実習指導者の方の指導の場面を見学する「参加観察実習」があります。参加観察実習を通して、自分の課題に気づき、新たな学びを得たいと思っています。講習での学びを少しずつ指導に活かしたいです。

